

ぶれない

最近、大署での実例の中からですが、税法でない他の法律違反を指摘し「重加算税」を告知、調査を強引に進めている事例がありました。

対象者は事業を始めて最初の調査でした。

局署の担当者が徒党を組む調査は一般的に若年指導をも兼ね、職員間の「根性」度胸だめしのようです。単独調査の人は優秀

変わらない税務調査

すなわちネクタイをした姑息な「ヤクザ」？です。

外国勢力の手先とも知らず「国策捜査」のどこかの検察と本質は大きく変わらない。

目的（増差）のためなら実際、権力者はどんな手段でも使います。

「修正申告」を認めさせて実質、権利放棄をさせるのです。

担当者から納得いく説明がない場合は、絶対に諦めていけません。

各人の決意が、税務署の現場を改善し、泣き寝入りする人が増えないことにつながります。

不当に対して闘う気持ちが少しでもある限り、全面的に支援致します。

そのため、実戦経験豊富な税の「専門家」がいます。

FPの自己責任

だいたにおいて、裕福なFP？を見たことがない。金融機関から委託されて手数料を稼ぐだけで、

FPのアドバイスは傾聴に値するだろうか。早い話、

「昨年の自分の資産運用の実績を見せ手下さい」と顧客か

ら言われて、

手口を開示できるFPがいたい、果たしてどれだけのFPの利回りは一体どれくらいなのでしょう。

マイナスでなければ上出来でしょう。

専門家としての責任は、どう感じているのでしょうか。

ジョークを含めた見事さにも深く敬服するものです。

日本人にはないものなのでしょうか。

これは、西洋の文化「騎士道」

従属国家

文化が営々と文化の中に生きていて深い感動を覚えます。

この白人達の文化はいったいどこからきているのでしょうか。

敗戦まで我が国も冠たる「武士道」文化が継承されて

いましたが、

G HQ占領軍は戦後の日本文化を徹底的に破壊した。

相手を公正に敬う心をも排除した。

心身のアイデンティティを

消し去るため、日本人の人格を否定し、

戦後の教育で従属をすり込み、米金融資

本は、属国に生産工場の役割を負わし「派遣労働国家」の

役割を課す。白人（米）へのワーキングプア国家の使命を担わしています。



老舗のおしえ

訓えというものは、自らが経験し、体で覚えて初めて残っていくものです。

贅沢するな

借入れせず預金を贅沢に投機をするな

副業をするな
店と住居を分けよ

地域に貢献せよ
子孫に美田を残すな

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2009年3月12日(木) NO 32
地域から明るい未来を作ろう